

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年8月11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893100040		
法人名	有限会社 幸や		
事業所名	グループホーム ゆい	ユニット名	
所在地	〒311-3145 茨城県東茨城郡茨城町上雨ヶ谷548		
自己評価作成日	平成23年2月13日	評価結果 市町村受理日	平成23年8月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年4月18日	評価確定日	平成23年8月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>豊かな緑に囲まれ、自然に恵まれた環境の中で、ゆったりと時を過ごし、一人ひとりの生活を大切にしています。 ホームの庭や畑では季節の花や野菜を作り、眺めたり味わったりして楽しむことができます。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は幹線道路から少し外れた昔ながらの集落の中に位置し、利用者は自然に恵まれた環境の中で四季の移り変わりを肌で感じながら、ゆったりと和やかに過ごしている。 管理者は利用者本位のサービスの提供を第一に考え、職員は利用者を人生の先輩として尊敬し学ぶべき存在として捉え、利用者職員は「介護する側、される側」という一方的な関係ではなく、互いに支え合う関係を築いている。 利用者毎に担当職員が決められており、利用者一人ひとりの生活や健康状態をコメントや写真で毎月家族等に報告するなど、きめ細かなサービスを提供している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティング時などに話題に上げて話し合っている。少しずつ地域活動に参加している。	「地域の中で温かい絆を保ち自分らしく、生き生きと暮らしたい」という地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し談話室に掲示するとともに、職員会議などで確認し合い、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃活動へ参加している。	管理者は地域との交流が十分ではないと判断して地域の清掃活動への参加をしたところであるが、事業所自体が地域の一員として日常的に交流するまでには至っていない。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、運営者や管理者、全職員で自治会への加入や地域行事への参加、ボランティアの受け入れや小学生と中学生の体験学習の受け入れ、事業所の地域貢献について検討し、実践に取り組むことを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の意見を聞き、理解してもらえるように取り組んでいく必要がある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居状況や行事報告、職員の研修報告を行っている。	運営推進会議は家族等や市職員、民生委員などを委員とし、活動報告をしたり意見交換をしているが、年2回の開催にとどまっており、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催するとともに、会議で出た意見や提案を運営に活かすよう取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、現在の利用状況を報告している。変更があった場合には、その都度報告している。	管理者は市担当者に事業所の空き情報を提供したり、連絡事項のやりとりなどを行っているが、協力関係を築くまでには至っていない。	運営推進会議を活用したり電話や訪問などで市担当者と積極的に話し合う場面をつくり、協力関係を築くことを期待する。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は禁止している。マニュアルを参考にして意識の向上に努めている。	「身体拘束ゼロ宣言」を表明し、玄関ホールに掲示しているほか、身体拘束排除マニュアルを作成している。 全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 利用者の外出を察知した場合は職員が同行するなど、利用者の意思を尊重した支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修に参加し、ミーティング時話し合う機会を設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は活用の必要がないが今後は個々に応じて活用できるよう支援する必要がある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはできるだけの説明を行っている。解約時にも相談が得られるように支援している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見を聞く機会を作っている。家族には面会時意見をきいている。	重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関ホールに掲示している。 利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは来訪時に意見や要望を聴くよう努めているほか、玄関に意見箱を設置している。 出た意見等は職員会議などで話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時などで意見を聞き出されるだけ反映させている。	管理者は月1回職員会議を開催し、職員と意見交換をする機会を設けている。運営者に職員の率直な意見や提案などが伝えられ、出た意見等は運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	整備に努める必要がある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年1回他施設へ研修にしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今後検討に努める必要がある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者や職員とも少しずつ馴染みの関係ができるように取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に本人や家族から状況や状態を聞き安心して生活できるよう対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	暫定ケアプランを作成し、施設生活環境の変化に慣れて落ち着いた生活ができるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話を大切にし安心できる環境を心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時に報告し協力が得られるように援助している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	無理のない範囲で家族と相談している。	職員は家族等と連携を図り、利用者が馴染みの店で買い物をしたり墓参りや自宅に行くことができるよう支援し、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少しずつ馴染みの関係が構築できるよう援助している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ支援体制をとっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を聞いたり相談している。援助は本人を主体にと検討している。	職員は利用者との会話や表情、しぐさなどから、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 職員は把握した利用者の希望や意向を尊重し、カラオケや将棋、オセロゲーム、体操などを利用者がやりたい時にできるように支援をしているほか、農作業や花の水やり、洗濯物たたみなど、利用者が自主的に役割を担って過ごせるように支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できる範囲で聞き取りをし情報を収集し確認するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース検討はミーティング時毎日情報を共有できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意見を聞き必要なことを検討し計画している。	介護計画は要介護更新時に合わせてモニタリングを行い見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者または家族等の確認を得ているが、長期目標、短期目標ともに変更がない状態である。	長期目標、短期目標ともに達成可能な具体的な目標を設定し、それぞれに期間を設け、期間満了時に全職員で評価し、新たな介護計画へ反映させることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護につきケース記録に記録して職員間で情報を共有している。記録はこれからも勉強の必要があり不十分なところは改善し努力して取り組む必要がある。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて家族が宿泊できるように準備している。本人や家族の要望に対応できるように随時検討する。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員には相談し協力を得ている。警察、消防には支援体制を依頼する必要がある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院と連携し病院の訪問診療を利用している。医師とは良い関係を築いており、家族の納得が得られる支援を行っている。	利用者や家族等の希望にそったかかりつけ医への受診を支援しているほか、2週間に1回協力医療機関の医師による訪問診療を受診できる体制となっている。受診結果は電話や便りなどで家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師とは、常時相談できるたいせいがある。電話や直接会って話しをしている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時の受け入れなど、入退院時が安心してできる体制が整備されている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	協力病院の医師と日頃から話し合っている。本人家族とは終末期は病院との確認をしている。	事業所は終末期や看取りの支援は行わない方針で、契約時に利用者や家族等に説明しているが、明文化するまでには至っていない。	重度化や終末期における事業所の対応方針を明文化したうえで利用者や家族等に説明し、書面で同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し園内研修を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	民家への一時避難が出来る体制が整っている。	今年度は事業所独自の避難訓練を1回実施している。 少量の食糧や飲料水を事務室内に備蓄しているが、十分とは言えない状態である。 運営者の自宅が近隣にあり、自家発電機や食糧の支援が受けられる体制となっている。	消防署立ち会いの総合訓練を含め、年2回以上避難訓練を実施するとともに、夜間を想定した避難訓練を実施することが望まれる。 近隣住民に避難訓練への参加を働きかけ、災害時の協力体制を築くことを期待する。 食糧や飲料水、介護用品、生活用品、応急医薬品等の非常用物資を3日分程度備蓄し、適切

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保については特に意識を高く持ち業務に当たるよう話し合っている。	管理者や職員は利用者に対する呼び名や言葉遣いなどに気を配り、利用者一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。 個人用ファイルは事務室内の鍵のかかるロッカーに保管し情報漏洩に留意しているが、個人情報保護方針や個人情報利用にあたってのとり決めなどを記した個人情報保護規定を作成するまでには至っていない。	個人情報保護規定を作成し、利用者や家族等に説明したうえで、同意を得ることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人を主体に、本人の満足を目的にケアのあり方を考えている。安心して話し合えることを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の気持ちを優先し一人ひとりの暮らし方を大切にして見守りを行っている。楽しみや喜びを見つけられるよう、その日何か目的をもって自分なりの暮らしができるよう、少しずつ試行している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしいおしゃれができるよう本人の意向を聞きながら行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来ることは一緒に行えるようにしている。野菜など、収穫した物の仕上げや手入れも食べる楽しみにつながるものとしてとらえて行っている。	利用者は栗の皮剥きやインゲンの筋取りなど、できる範囲で食事の下ごしらえやテーブル拭き、下膳などを担っている。 食材は宅配業者を利用しているが、自家菜園で収穫した野菜や果物などを利用して品数を増やしたり、外食を取り入れて利用者が食事を楽しめるよう工夫をしている。 職員は利用者と一緒に食卓を囲み同じ食事を摂り、会話をしながら和やかな雰囲気の中で食事ができるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態、状況に応じて食事や水分摂取への支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕は歯磨きやうがい。昼はうがい。夕食後は義歯洗浄ができるように援助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できるだけトイレ使用ができるように援助している。	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導をし、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 昼間おむつを使用する利用者はおらず、トイレ誘導やポータブルトイレを利用し、なるべくおむつを使用しない支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や野菜などを多く摂取できるよう見守っている。体操や散歩を行いながら予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	状況や状態に応じ入浴やシャワー浴ができる体制になっている。	入浴は週3回と決まっているが、入浴日以外でも利用者の希望にそって入浴ができるよう支援をしたり、夜間も入浴ができるよう支援をしている。 脱衣場は他の場所との温度差がないようヒーターを設置しているほか、腰かけベンチが据え付けてあり、利用者が安全で快適に入浴ができるよう工夫をしている。 現在、入浴を拒む利用者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の気持ちを大切にして見守りを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は確認できるよう個人のケース記録にファイルしていつでも見られるようになっている。マニュアルを作成し安全に取り組んでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備を一緒にしたり、洗濯物を一緒にたたんだりできることを行っている。毎日の散歩、外出行事などを実施している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には毎日の散歩を行う。本人の希望や必要に応じて家族や職員の付き添いにて外出、外泊への援助を行っている。	<p>天気の良い日は利用者の歩行能力に合わせて事業所周辺を散歩することが日課となっている。</p> <p>利用者はウッドデッキに自由に入出することができ、気軽に外気浴を楽しんでいる。</p> <p>職員は物産センターや空港見学、花見など、利用者の希望にそった外出支援をしている。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や状態に応じお金の管理ができるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎを援助し家族と話ができるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったりしている。トイレなどは余分な物を置かないことで、危険を未然に防止できるようにしている。	<p>居心地よく過ごせるよう、リビングの一角に高床式の和室を設置したりソファを用意している。</p> <p>壁面に行事や日常生活を楽しむ利用者の写真などが飾られ、家庭的な雰囲気づくりをしている。</p> <p>明り取りの天窓、車いす使用の利用者に配慮した洗面台、座面が回転する食卓椅子など、利用者が快適に過ごせるよう仕様や備品に工夫が施されている。</p> <p>なすやきゅうり、かぼちゃ、すいか等を栽培している畑では、利用者と職員と一緒に作業や収穫を行い、五感を刺激したり季節の移り変わりを感じられる場所となっている。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼居間は自由に過ごす場所としてそれぞれに居場所ができるのを見守り、居心地のよい関係ができるよう見守っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の好むように使い慣れた家具などの後込みも勧めている。	居室にはダンスやラジオなどの馴染みの物品や位牌などが持ち込まれているほか、家族等の写真や賞状などが飾られ、居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できることは自分で行えるような見守りを心がけている。わからないことや危険なことがあれば相談し自立に向けた援助を工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームゆい

作成日 平成23年8月8日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	近隣住民の訪問やボランティアとの交流はあるが、事業所からの積極的な係りは少ない。	利用者、職員が地域の一員として地域活動へ参加できるようにする。	地域活動や夏祭りなどの日程の把握や参加できる体制を作っていく。	H23.9.1～ H24.8.31
2	2	運営推進会議が年に2回程しか実施できていない状況である。	2ヶ月に1回の実施をできる体制に整える。	多くの方に出席して頂けるよう早めの依頼をし開催時期・開催時間の変更を考えています。	H23.9.1～ H24.8.31
3	3	市担当者との協力関係を築くまでには、至っていない状況である。	実施をできる体制に整える。	協力関係を図れるように、体制を整える。	H23.9.1～ H23.12.31
4	4	モニタリングを全職員で評価し、見直しをしていく。	介護計画へ反映させていく。	実施できる体制を整える。	H23.9.1～ H23.12.31
5	5	重度化や終末期に向けた対応ができていない状況である。	利用者や家族から希望を確認し、同意書作成と共に職員体制を整える。	利用者や家族についての確認、職員研修が実施できる体制を整える。	H23.9.1～ H23.12.31
6	6	災害時の非常用物資を備蓄できていない状況である。	準備とともに、近隣住民の協力を得る。	施設全体で体制を整える。	H23.9.1～ H23.12.31
7	7	個人情報保護規定を作成するまでには、至っていない状況である。	個人情報規定を作成する。	利用者や家族に説明したうえで、同意を得るようにする。	H23.9.1～ H24.8.31

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。